

## 地域奉仕・環境事業通信 第1号

2015年8月10日

地域奉仕・環境事業主任 川上 孝司  
(京都パレスワイズメンズクラブ)

7月より新年度が始まった途端アジア地域大会。本格的に皆様に事業も進んでおられることと思います。各クラブの皆様の主体的な事業を応援致します。

[Will The Circle Be Unbroken]

The earliest of mankind on earth  
had music with energy.

**HAND IN HAND** 共に生きる

### 事業方針

この地上に生まれた最初の人類は地球の大自然と向かい合い地球の鼓動を感じながら生きてきた。私たちは常に大自然のなかに生かされています。地球を取り巻く様々な環境と向き合い共存し生きています。同時に、人と人との関わり合いのなかで生きていることを忘れてはなりません。**HANDINHAND**とは、がっしりと手と手をつなぎ合わせ大きな繋がりを作っていくことです。ワイズ活動を通し、人と自然環境との関係に目を向けそして人と人との友情の輪を大切にしこの思いを持ってご奉仕しようと考えています。私たちのこの絆は永遠に続きます。

### 【ロールバックマラリア】

私達を取り巻くあらゆる環境問題の中でワイズメンズクラブ国際協会が引き継ぎ取り組むこととなったロールバックマラリア運動を今期西日本区において遠藤理事を先頭に推進していきます。ワイズメンズクラブ国際協会としてマラリア対策としてロールバックマラリア運動 **RBM** に国連 **NGO** として参加しています。世界ではいまだマラリアにより多くの尊い生命が奪われています。運動の内容としましては、皆様から頂いた貴重な寄付金は防虫蚊帳を含むマラリア対策パッケージを購入するための資金とさせていただきます。この運動は我が協会も含め国連・ユニセフ・国際赤十字・**WHO** などが運動に参加しています。この運動により世界の衛生環境に大きく貢献しています。マラリアは、マラリア原虫に感染したハマダラカという種類の蚊に刺されることで感染する病気です。分布を見ると、赤道付近の国々では広範に蔓延していて、感染のリスクが多くに及びます。マラリアは、世界の子どもの命を奪う 3 大疾病のひとつとされています。マラリアに感染し、命を奪われる人の数は年間 66 万人。マラリア予防には殺虫剤処理をほどこした蚊帳の使用が不

可欠であるとユニセフは発表しています。 ワイズメンズクラブ国際協会を含む多くのパートナー団体は各国政府に、長期間使用できる殺虫剤処理をほどこした蚊帳（ITNs）を無料で配布することを推奨し、支援しています。2人に1帳の割合で蚊帳が使えれば、マラリアによる子どもの死亡は少なくとも20%削減できるとされます。この取り組みに関し西日本区全体で取り組みたく思います。要請がございましたら、各例会等でアピールなどさせていただきます。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。